| 科目名称 | 基礎看護技術Ⅱ（生活を支える看護技術） | 学年学期 | 単位数 | 時間数 |
|---|---|---|---|---|
| | | 1学年　前期 | 2 | 45 |
| 担当教員 | 越智　明夏 | 授業に関わる実務経験 | ■ 有 （ 看護師 ）<br>□ 無 | |

**【1】 授業概要**

日常生活の援助技術は、対象に直接行う援助であり、安全で安楽な援助技術、対象に配慮した技術を習得する必要がある。様々な対象に応用できる技術の原理原則を学び、演習で看護師役・患者役を体験し、患者の気持ちを理解し、対象に配慮できるようになることをめざす。

**【2】 学習目標**

1. 対象の安全・安楽をふまえた日常生活行動の援助を実施することができる。
2. 患者役を体験することで、患者への具体的な配慮を学ぶ。

**【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性**

■ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
□ 3. 地域の特性を看護に生かす力
□ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■ 5. 主体的に学び続ける力

**【4】 授業計画**

| | 内容 | 主な授業形態 |
|---|---|---|
| 1 | 移動援助とは | 講義 |
| 2 | 車椅子・ストレッチャーの移乗と移送 | 演習 |
| 3 | 睡眠・休息の援助 | 講義 |
| 4 | 清潔援助とは | 講義 |
| 5 | 寝衣交換 | 演習 |
| 6 | リネン交換 | 演習 |
| 7 | 全身清拭 | 演習 |
| 8 | シャワー浴① | 演習 |
| 9 | シャワー浴② | 演習 |
| 10 | 足浴① | 演習 |
| 11 | 足浴② | 演習 |
| 12 | 洗髪① | 演習 |
| 13 | 洗髪② | 演習 |
| 14 | 食事援助とは | 講義 |
| 15 | 食事介助と口腔ケア | 演習 |
| 16 | 経管栄養法とは | 講義 |
| 17 | 経管栄養法 | 演習 |
| 18 | 排泄援助とは | 講義 |
| 19 | 浣腸と摘便 | 演習 |
| 20 | 陰部洗浄 | 演習 |
| 21 | オムツ交換 | 演習 |
| 22 | 日常生活援助のまとめ | 講義 |
| 23 | 試験・まとめ | |

**【5】 評価方法**

科目評価は、筆記試験（70点）、演習の取り組み(20点)、提出物（10点）で総合的に評価する

**【6】 教科書**

1. 任和子：系統看護学講座　専門分野　基礎看護学3　基礎看護技術Ⅱ（第18版）　医学書院　2023　（電子版）
2. 藤野章子：看護技術ベーシックス（第2版）　サイオ出版　2023

**【7】 参考書**

薄井担子ほか「ナイチンゲールの『看護覚え書』（改訳第7版）」現代社　　ほか随時紹介

**【8】 受講生へのメッセージ**

学内実習は患者役と看護師役を体験しながら技術を習得します。単なる「真似」にならないように、なぜそうするのかという理由や根拠、行う意図を自分自身で考えましょう。また、学生同士で話し合うことで学びを深めましょう。